

Weekly Bulletin 2017-2018



RI会長
イアン H.S. ライズラー



ロータリー：
変化をもたらす



会長
高田雅司

静岡東ロータリークラブ

会長 / 高田雅司 幹事 / 川崎依子

事務局 / 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>

第 2844 回例会

平成 29 年 2 月 15 日 天候 晴

- 《司 会》 川崎 依子 君
- 《合 唱》 「それでこそロータリー」
- 《BGM》 アンドレ・ギャニオン作品集 4
ノクターンが聴こえる ほか
- 《ゲスト》 なし
- 《ビジター》 なし
- 《本日のお祝い》

お誕生日	結婚記念日
2月22日 佐橋 徹 君	なし
2月24日 鈴木 広士 君	

4月になりますと5日の観桜会、14日土曜日の地区協議会が甲府にて開催され、19日はこれも恒例の例会後の南部特別支援学校を訪問しての子供たちとの植樹活動があります。5月は分区の坂本ガバナー補佐の訪問、そして6月28日の年度最終夜間例会を終え、次年度：杉田年度にバトンを渡すこととなります。

下期は、様々な地区、分区の活動に加え、クラブでの二大奉仕活動と盛りだくさんの事業、企画がございます。

こういった事業への積極的な参加と共に、スタート時に柱としての目標であった会員の増強について、皆様からの情報提供もよろしくお祈りいたします。期末には、期首での会員数53を上回る会員数にて杉田年度に引継ぎをしたいと思います。

以上、下期の計画と目標達成のお願いを申し上げます。よろしくお祈りいたします。

《会長挨拶要旨》

高田 雅司 会長



皆さん、こんにちは。
2017-2018年度も残すところあと4ヶ月半となりました。第三コーナーに入ろうかとするところでしょうか。今日は上期を過ぎ、中間会計報告もごさいます。皆様の御協力により、計画の行事等も予定通り実行され順調に進んでまいりましたが、この後クラブとしての主だった事業が目白押しです。

今月は23日の金曜日に市内7クラブの合同例会が、3月は1日のワインの会(すみません、理事長を務めます業界組合のイタリア研修旅行で参加できません)11日の日曜日にIM、24日の土曜日は重なってしまいましたが、恒例の社会奉仕活動：浅畑川清掃と富士吉田市においてPETSが開催されます。

《中間会計報告》

会計の大村幸代君より、中間決算報告書に基づき、平成29年7月1日から平成29年12月31日までの中間会計報告が行われました。



《クラブフォーラム（職業奉仕）》



森下 登志美 君

先月1月27日第2620地区職業奉仕セミナーが開催され参加してきました。

今日は職業奉仕セミナーで話された内容をお話するとともに、皆さんで今後の職業奉仕で取組が期待される行動とは？について議論をお願いしたいと思います。

＜職業奉仕セミナーの内容＞

日本のロータリー100周年委員会ビジョン策定特別委員会委員長の本田様と同委員の志田様からお話をいただきました。以下が主な点です。

・職業奉仕は他の奉仕部門の上位概念、ロータリー理念の根底という日本のロータリーの伝統的職業奉仕観と五大奉仕部門の一つであるという世界のロータリーの認識との違いが存在。

・職業を通じて奉仕するのがロータリーであるという日本のロータリーの認識と、自分の職業上のスキルを活かした奉仕活動をすすめる世界のロータリーとの違い。

・仕事をして公平性と倫理を高めるのが職業奉仕(伝統的理解)という認識から、会員企業とロータリーが協力して活動するようにしていこう。

・地区内79クラブに対して具体的な職業奉仕活動に関するアンケートを実施したところ、職場見学会、職場卓話、四つのテスト唱和、表彰・寄付・支援といったところが実施クラブ数、今後の活動希望クラブ数ともに多かった。

＜RI 職業奉仕入門から＞

セミナー後、RIの職業奉仕入門を見てみると、以下のことが掲載されていました。

・職業奉仕への取り組みとして高い倫理基準の実践を推進してきた。その中で生まれたのが「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」である。

・職業奉仕プロジェクトの機会としては、高い倫理基準を重視する考え方を広める、専門的職業能力の養成を支援する、職業をボランティア活動に生かすなどがある。

＜今後の職業奉仕で取組が期待される活動とは？＞

各テーブルでの議論の中で以下のような項目が意見として話されました。

・高潔性のある倫理観を通して仕事をするのが職業奉仕の根幹。

・職業奉仕と社会奉仕の垣根がなくなり、活動がどの奉仕にあたるかがボーダーレスになってきた。

・高校や中学の総合学習で会員が話をしたり、伝統工芸の職人さんを表彰するなどの活動は行っている。

・各会員の企業は公園の清掃やカーブミラーの清掃などおこなっているが、あえて職業奉仕とは言っていない。

・職業奉仕活動をしていることを自ら情報発信することは美德とされてこなかった。むしろ広報して世間に知らしめる方がいいという理解になったのでは？

・四つのテストを職場や私生活の行動指針とすることについて、現在の社会ではこれができなければ社会からスピンアウトしてしまう。フードロスの削減など自社の存続のみでなく、社会全体に良いことができないかという意識になってきた。

・活動内容として、清掃や支援学校訪問などはわかりやすくてよい。子育て支援などの情報発信や場の設定などをしていったらよいのではないか？

《スマイル報告》

佐橋 徹 君 お誕生日のお祝いをありがとうございます。大分年を取りましたが、身体はまだ使えそうですので、もう少し頑張ってみます。

佐野 哲一 君 前会、入口で中島会員から突然「いいことあったね」と肩を叩かれこの人何を言い出すのかと首を傾げながら、幹事報告書を何気なく眺めてみて「忘れてた、此の事か」と人生の鮮度が落ちたことを自覚した次第です。中島会員の役務努力分、一枚余分に入れておきます。結婚記念日のスマイルとして。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
2/15	52(50)	41	9	-	-	-
2/8	52(50)	38	12	-	-	-
2/1	52(50)	38	12	7	5	90.00%

(会報作成 新井 健一)